

# 2020年度 事業報告

自：2020年4月 1日

至：2021年3月31日

～ 1 ～

[www.jlta.or.jp](http://www.jlta.or.jp)

2021 (c) Japan Livestock Traders Association. All rights reserved.

## 1. 2020年度の会員の異動

- |         |                    |
|---------|--------------------|
| (1) 入会  | 0社                 |
| (2) 退会  | 0社                 |
| (3) 会員数 | 42社 (2021年3月31日現在) |

## 2. 2020年度家畜輸入状況（会員実績）

### （1）畜種別輸入頭数

畜種	年度	2020年度	2019年度	2018年度
馬		3,107	4,325	5,202
牛		13,569	17,927	16,462
豚		1,523	1,205	379
緬山羊・鹿		23	16	30
その他の動物		0	0	10
合計		18,222	23,473	22,083

### （2）用途別輸入頭数

畜種	種類・用途	2020年度	2019年度	2018年度	
馬	軽種馬	繁殖用	148	122	127
		競走用	143	162	183
	軽種馬計		291	284	310
	乗用馬	117	194	236	
	重種馬	0	0	0	
	肥育用素馬	2,699	3,843	4,656	
	と場直行馬	0	0	0	
	その他の馬	0	4	0	
	合計		3,107	4,325	5,202
牛	血統登録牛	乳用牛	0	10	175
		肉用牛	0	0	0
	血統登録牛計		0	10	175
	その他の牛	乳用牛	0	3,156	2,244
		肉用牛	0	2	0
	その他の牛計		0	3,158	2,244
	肥育用素牛	共同輸送船	13,569	14,759	14,043
		上記以外	0	0	0
	肥育用素牛計		13,569	14,759	14,043
と場直行牛	0	0	0		
合計		13,569	17,927	16,462	
豚	繁殖用豚	1,523	1,205	379	
	その他の豚	0	0	0	
	合計	1,523	1,205	379	
緬山羊 山羊 鹿	繁殖用	23	16	30	
	その他の緬山羊・鹿	0	0	0	
	合計	23	16	30	
上記以外の大動物		0	0	10	
上記以外の中動物		0	0	0	
上記以外の小動物		0	0	0	
総合計		18,222	23,473	22,083	

（注）その他の馬（2019年度：重種繁殖用）

緬山羊鹿の繁殖用（2020年度，2019年度：山羊、2018年度：緬羊）

上記以外の大中小動物（2018年度：水牛）

### (3) 家畜の輸入検疫に係る受検計画の策定と家畜輸入をめぐる情勢

#### ア 年間収容計画の策定とその後の調整

計画の策定に際して係留施設の効率的利用を図るため、会員への希望調査の実施（多頭数輸送畜種対象）と状況を考慮しての調整（実績率、時期・場所別収容想定等）を行い、2021年度に向けての希望総頭数 25,220 頭に対し収容計画頭数（2021年度当初）を 24,780 頭に設定した。

2020年度輸入においても計画変更及び新規希望への対応・調整のほか、繁殖豚では半年毎の希望調査を実施して計画の修正に反映した。

これらの計画策定と調整に際しては動物検疫所と緊密に連絡を取りつつ、円滑な動物検疫受検体制の維持に努めた。

#### イ 家畜輸入の状況

2020年度 18,222 頭（77%、以下「%」は対前年比）と前年度から大幅に減少した。

畜種別及び用途別では、馬 3,107 頭（72%）うち軽種馬（繁殖）148 頭（121%）、軽種馬（競走）143 頭（88%）、乗用馬 117 頭（60%）、肥育用素馬 2,699 頭（70%）、牛 13,569 頭（75%）すべて肥育用素牛 13,569 頭（92%）、豚 1,523 頭（126%）、山羊 23 頭（143%）であった。

#### ウ 監視伝染病の摘発状況

2020年度中の輸入検疫において監視伝染病に感染もしくはその疑いありと診断された疾病は、家畜伝染病ではアナプラズマ病（牛）、届出伝染病では牛ウイルス性下痢（牛）であった。

#### エ 家畜輸入をめぐる課題・話題

##### ① BSE発生国からの生体牛等の輸入停止措置

輸入停止措置によりオーストラリア、ニュージーランドからの輸入に限定。

##### ② 輸入家畜の損耗防止への取り組み

係留施設での暑熱による家畜損耗防止の観点から動物検疫所と意見交換を継続している。

##### ③ 動物検疫所の施設整備

施設工事に伴う収容計画への影響を最小限とするため動物検疫所と情報共有に努めるとともに、会員への事前周知と協力依頼を実施している。

##### ④ 動物検疫所による水際検疫の強化

検疫探知犬増頭、関係機関連携による検査体制の強化が図られている。

PCR検査法の追加とリスク評価に基づく合理的な検査が実施されている。

### 3. 会議等の開催状況

#### (1) 総会

次のとおり総会を開催し、原案について審議、承認、議決した。

開催日及び場所	議 決 事 項
第30回定時総会 2020年5月22日 一般社団法人 日本家畜輸出入協議会	第1号議案 2019年度事業報告及び決算に関する件（報告・承認） 第2号議案 2019年度公益目的支出計画実施報告書に関する件（報告） 第3号議案 2020年度事業計画書及び収支予算書に関する件（報告） 第4号議案 任期満了に伴う理事の改選並びに監事の補欠選任に関する件（報告・承認）
臨時総会 2020年12月4日 一般社団法人 日本家畜輸出入協議会	第1号議案 役員の補欠選任に関する件（報告・承認）

#### (2) 理事会

次のとおり理事会を開催し、協議会の業務運営に関する議案について審議、議決した。

開催日及び場所	審 議 ・ 議 決 事 項
第1回理事会 2020年4月21日 協議会会議室	第1号議案 第30回定時総会の開催に関する件 第2号議案 2019年度事業報告、収支決算報告及び監査報告 第3号議案 2019年度公益目的支出計画実施報告及び監査報告 第4号議案 協議会運営事項
第2回理事会 2020年9月15日 協議会会議室	第1号議案 2021年度輸入家畜収容計画策定基本方針 第2号議案 報告・連絡事項
第3回理事会 2020年11月17日 協議会会議室	第1号議案 2020年度上半期決算報告 第2号議案 2021年度輸入家畜収容計画に関する件 第3号議案 2020年度臨時総会の開催に関する件 第4号議案 その他の報告・連絡事項
第4回理事会 2021年3月16日 協議会会議室	第1号議案 2020年度家畜輸入状況報告 第2号議案 2021年度輸入家畜収容計画報告 第3号議案 2020年度収支決算見通し報告 第4号議案 2021年度事業計画書及び収支予算書の承認 第5号議案 協議会運営事項
臨時理事会 2020年5月22日 協議会会議室	第1号議案 代表理事並びに専務理事の選定に関する件 第2号議案 報告・連絡事項
臨時理事会 2020年12月4日 協議会会議室	第1号議案 代表理事（副理事長）の選定に関する件 第2号議案 畜種別部会（素牛、と牛）の部会長について

### (3) 畜種別部会

次のとおり協議会部会組織運営規程に基づく畜種別部会を開催し、家畜輸入に関する共同輸送計画、輸入希望頭数の調整を含む会員の家畜輸入年度計画の策定のほか、動物検疫所との情報交換を行い、家畜輸出入の円滑な実施を図るとともに、動物検疫所の係留施設の効率的運用に努めた。

開催日及び場所	会 議 内 容
牛部会 2020年12月18日	議 題 1. 2021年度輸入家畜収容計画及び協議会運営事項 2. 2021年度牛（乳用牛）配分・収容計画 3. その他
素馬部会 2020年12月11日	議 題 1. 2021年度輸入家畜収容計画及び協議会運営事項 2. 2021年度素馬配分・収容計画 3. その他
豚部会 2021年2月26日	議 題 1. 2020年度家畜収容状況と動物検疫所係留施設の現況 2. 2020年度家畜収容計画策定について 3. 2021年度豚輸入計画について 4. 動物検疫所所管事項説明並びに情報・意見交換

協議会定款第32条に基づく畜種別部会  
(2020年度)

2021年3月末日

部 会 名	部会長	副部会長	部 会 員
馬	(株)野澤組 野澤 毅一郎	全農畜産サービス(株) 内田 江一郎	(株)野澤組、全農畜産サービス(株)、(株)エバーユニオン商会 関東馬匹運輸(有)、グリーンヒルズ(株)、(株)スパイクス 大西洋貿易(株)、(有)T&Tコーポレーション ナーヴィックインターナショナルインク日本事務所 ナル・トレーディング(株)、(有)ブルーグラスインターナショナル  11社
牛	全農畜産サービス(株) 内田 江一郎	(株)野澤組 野澤 毅一郎	全農畜産サービス(株)、(株)野澤組、兼松(株)、スターゼン(株) (株)ゼン・トレーディング、双日食料(株)、ティーエムシー(株) (株)ナスアグリサービス、(株)藤井商店、マルハニチロ(株) (有)瑞穂農場、三井物産(株)  12社
豚	プライフーズ(株) 高畑 隆	イワタニ・ケンボロー(株) 菊池 将仁	プライフーズ(株)、イワタニ・ケンボロー(株)、伊藤忠商事(株) (有)萱農場、(株)シムコ、ジャパンフード(株)、全農畜産サービス(株) 双日食料(株)、(株)ナスアグリサービス、(株)野澤組 ピクアジェネティクス(株)、日の出物産(株)、マルハニチロ(株)  13社
素牛	双日食料(株) 森谷 秀範	マルハニチロ(株) 時津 亮介	双日食料(株)、マルハニチロ(株)、伊藤忠商事(株)、兼松(株) ジャパンフード(株)、スターゼン(株)、全農畜産サービス(株) (有)大平物産、ティーエムシー(株)、日鉄物産(株)、(株)ヒョウチク 丸紅(株)、(有)瑞穂農場、三井物産(株)、(有)南牧場  15社
と牛	兼松(株) 杉原 亮	丸紅(株) 白石 真也	兼松(株)、丸紅(株)、スターゼン(株)、双日食料(株) ティーエムシー(株)、(株)ヒョウチク  6社
素馬	丸紅(株) 白石 真也	ジャパンフード(株) 富山 修	丸紅(株)、ジャパンフード(株)、(有)小田桐産業、(株)菅乃屋ミート 全農畜産サービス(株)、双日食料(株)、大西洋貿易(株) ティーエムシー(株)、(株)肉の大塚、(株)フジチク (有)貿易振興サービス、Bostonトレーディング(株)、三井物産(株)  13社

(注) 部会員の表記順は、正・副部会長に続いて50音順

#### (4) 家畜輸出入に関するセミナー

会員への畜産及び家畜衛生・公衆衛生に対する知識の向上と家畜輸出入の円滑化を図るとともに、会員以外にも普及啓発に努めるためにウェブ方式で開催した。

講演内容はセミナー資料として配布するとともに、その概要を協議会 Web サイトで公開している。

開催予定日及び場所	演 題
家畜輸出入に関するセミナー 2021年3月11日 一般社団法人 日本家畜輸出入協議会 会議室	「動物検疫－牛・馬・豚の検疫－」 動物検疫所 オリンピック・パラリンピック担当専門官 石塚 久義 氏

#### 4. その他の主な事業等

##### (1) 家畜輸出入に関する情報の収集と周知等

2020年度に農林水産省関係部局、動物検疫所等から発出された通知・連絡のうち、家畜の輸出入に関連するものを会員に周知するとともに、国内外での家畜の伝染性疾病発生状況及び関連情報についても、必要に応じて会員へ提供した。

##### (2) 動物検疫所等との意見交換、要望等

動物検疫所と家畜の飼養管理・検査時の事故防止（安全対策）に係る意見交換、関係部会への周知並びに家畜の需給動向、輸出国での取扱状況（検査及びワクチン接種状況、隔離状況等）等についての情報の提供、意見交換を行った。

##### (3) 輸入牛の耳標手配請求・管理報告

牛トレーサビリティ法に基づく輸入牛の耳標の取扱いのうち、オーストラリアでの装着耳標については、(独)家畜改良センター個体識別部への発注手配と管理報告に関与しているほか、随時、連絡調整を実施。

##### (4) 輸出入・港湾関連情報処理システム（NACCS）の利用推進

輸出入・港湾関連情報処理システム（NACCS）での動物輸入の事前届出促進のため、メールでの事前届出案内を会員に行い期限厳守を要請した。

##### (5) Web サイト利用に係る利便性の維持

Web サイト「JLTA On-Line」上にて家畜輸出入に係る家畜衛生条件の公開、検疫手続に要する各種様式の提供、輸入頭数速報等の情報提供を実施しており、2020年度も家畜衛生条件の締結・改正に伴う最新情報への更新、家畜輸出入に関するセミナー参加への一般公募等について公開した。

##### (6) 動物検疫所の畜霊祭行事への参加

動物検疫所各係留施設では、輸入検疫の結果、家畜の伝染性疾病に罹患もしくは罹患のおそれがあるとして淘汰された家畜並びに輸送・係留中の事故等で死亡した動物の霊を慰めるために畜霊祭が開催されていることから、2020年度は2係留施設での本

行事に参列した。

## 5. 2020年度に発出された家畜の輸出入関連通知

(2020年4月1日～2021年3月31日接受分、元号表記年月日は官庁文書日付)

- (1) 令和 2年 5月 25日 - 2動検 第 135号 農林水産省 動物検疫所長  
件名 イタリアから日本向けに輸出される馬の家畜衛生条件及び証明書様式について
- (2) 令和 2年 5月 27日 - 2動検 第 159号 農林水産省 動物検疫所長  
件名 ニュージーランドにおけるピロプラズマ病の発生を踏まえた同国から日本向けに輸出される馬の輸入検疫証明書発行の一時停止について
- (3) 令和 2年 7月 1日 - 2消安 第 1567号 農林水産省 消費・安全局長  
件名 特定家畜伝染病防疫指針に基づく発生予防及びまん延防止措置の実施に当たっての留意事項についての全部改正について (口蹄疫等4疾病)
- (4) 令和 2年 7月 1日 - 2消安 第 1579号 農林水産省 消費・安全局  
動物衛生課長  
件名 「家畜伝染病予防法の一部を改正する法律」の施行に伴う輸出入検疫措置の強化に関する畜産農家等へ注意喚起について
- (5) 令和 2年 7月 1日 - 2動検 第 299号 農林水産省 動物検疫所長  
件名 家畜伝染病予防法の改正について (協力依頼)
- (6) 令和 2年 9月 18日 - 2動検 第 514号 農林水産省 動物検疫所長  
件名 ドイツから日本向けに輸出される生きた豚、豚肉等及びドイツから輸入した豚又は豚肉等を原料として輸出国で生産され日本向けに輸出される豚肉等の輸入停止措置について
- (7) 令和 2年 11月 19日 - 2生畜 第 1358号 農林水産省 生産局長  
件名 牛及び豚のうち純粋種の繁殖用のもの並びに無税を適用する馬の証明書の発給等に関する事務取扱要領の一部改正について
- (8) 令和 2年 11月 20日 - 2動検 第 773号 農林水産省 動物検疫所長  
件名 米国から日本向けに輸出される馬の家畜衛生条件及び検査証明書様式について
- (9) 令和 2年 12月 15日 - 2動検 第 846号 農林水産省 動物検疫所長  
件名 行政手続等における押印原則の見直しに伴う各種要領等の取扱について
- (10) 令和 2年 12月 22日 - 2消安 第 4240号 農林水産省 消費・安全局長  
件名 年末年始、春節等に向けたアフリカ豚熱、豚熱、口蹄疫、高病原性鳥インフルエンザ等に関する防疫対策の徹底について
- (11) 令和 3年 1月 7日 - 2動検 第 934号 農林水産省 動物検疫所長  
件名 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会における馬術競技に参加する馬の証明書様式について
- (12) 令和 3年 3月 30日 - 2動検 第 1218号 農林水産省 動物検疫所長  
件名 「動物の輸入検査における検査実施項目等の指針」の一部改正について
- (13) 令和 3年 3月 30日 - 2動検 第 1219号 農林水産省 動物検疫所長  
件名 輸入検査における馬伝染性子宮炎の検査法の一部改正について
- (14) 令和 3年 3月 30日 - 2動検 第 1221号-1 農林水産省 動物検疫所長  
件名 国際交流競走出走馬の輸入検疫要領の改正について

## 6. 顧問弁護士及び税理士の委嘱

下記の顧問弁護士及び顧問税理士の指導のもと、一般社団法人業務の公正・的確な運営と経理事務の適正な処理を行った。

区 分	氏 名	住 所
弁護士	谷 眞 人	東京都千代田区有楽町1-6-4 日比谷見附法律事務所
税理士	松 下 敬 三	東京都中央区日本橋大伝馬町2-1-4 松下会計事務所